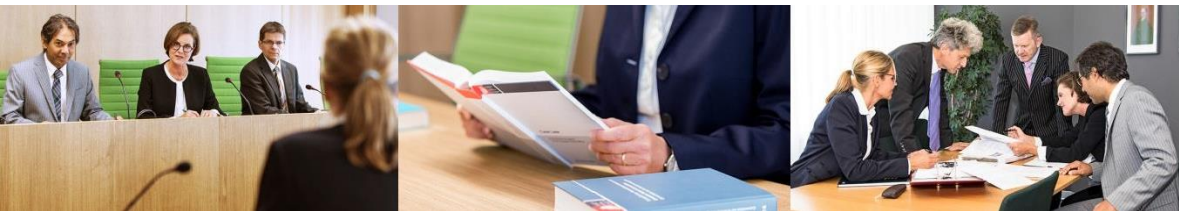




Europäisches  
Patentamt  
European  
Patent Office  
Office européen  
des brevets

# 欧州特許庁審判部

国際知財司法シンポジウム2022にて発表



Boards  
of Appeal

# 要点の概要

- 欧州特許機構及び欧州特許庁(EPO)の組織構造
- 能力・構成
- 内部組織
- 審判組織
- EPO拡大審判部への付託
- 審判部の統計
- 審判手続きの側面及び新たな審判部手続規則

# EPOrg及び欧州特許庁(EPO)の組織構造

## 欧州特許付与に関する条(EPC) 第4条 欧州特許機構の機関

- (1) 欧州特許機構の機関は、次のとおりである:
  - (a) 欧州特許庁；
  - (b) 管理理事会
- (2) 機構の任務は、欧州特許を付与することにある。この任務は、管理理事会によって監督される欧州特許庁が遂行する。

## 欧州特許付与に関する条約(EPC) 第15条 手続を担当する部課[EPO]

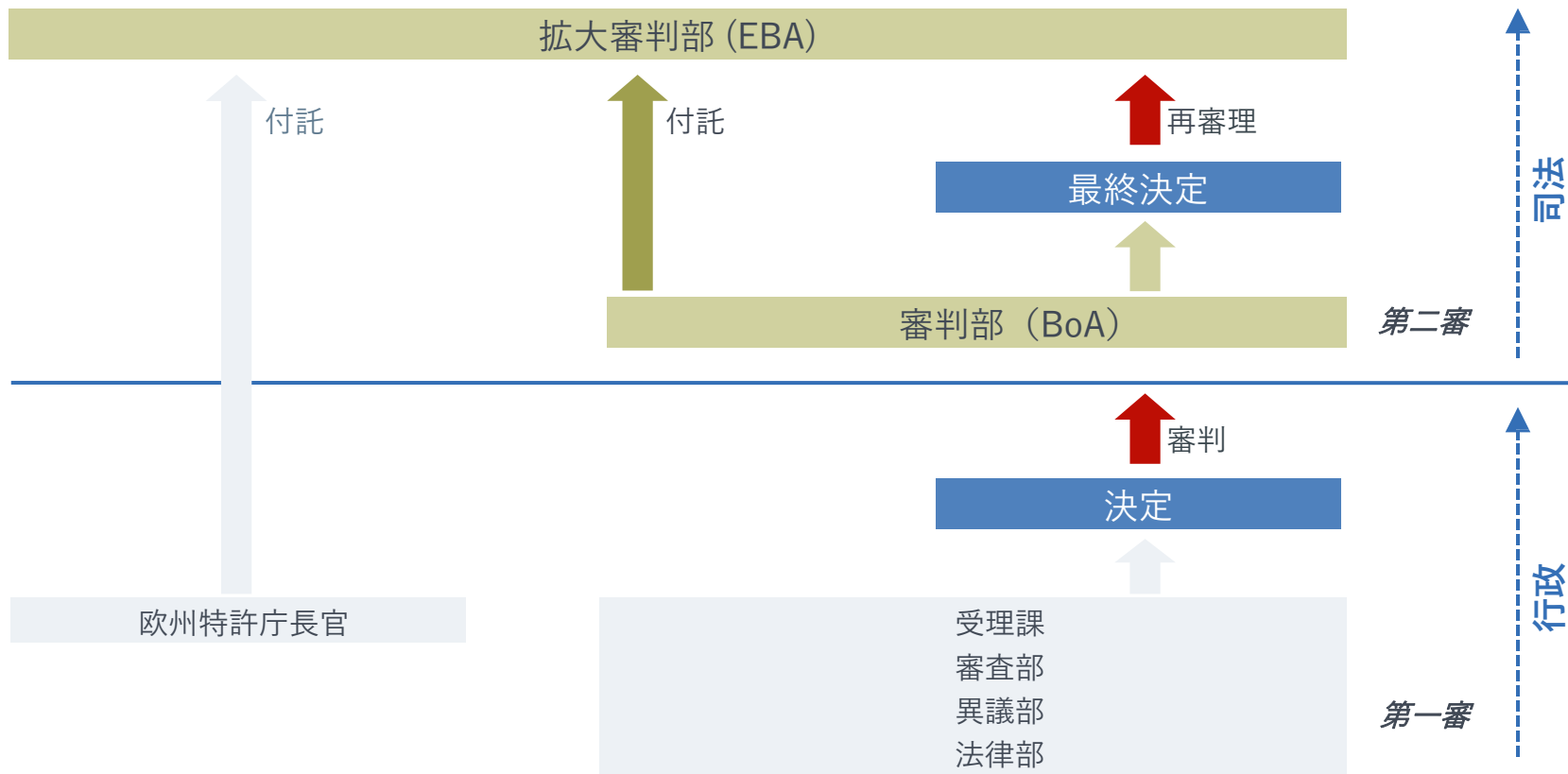
- a) 受理課
- b) 調査部
- c) 審査部
- d) 異議部
- e) 法律部
- f) 審判部
- g) 拡大審判部

**審判組織**

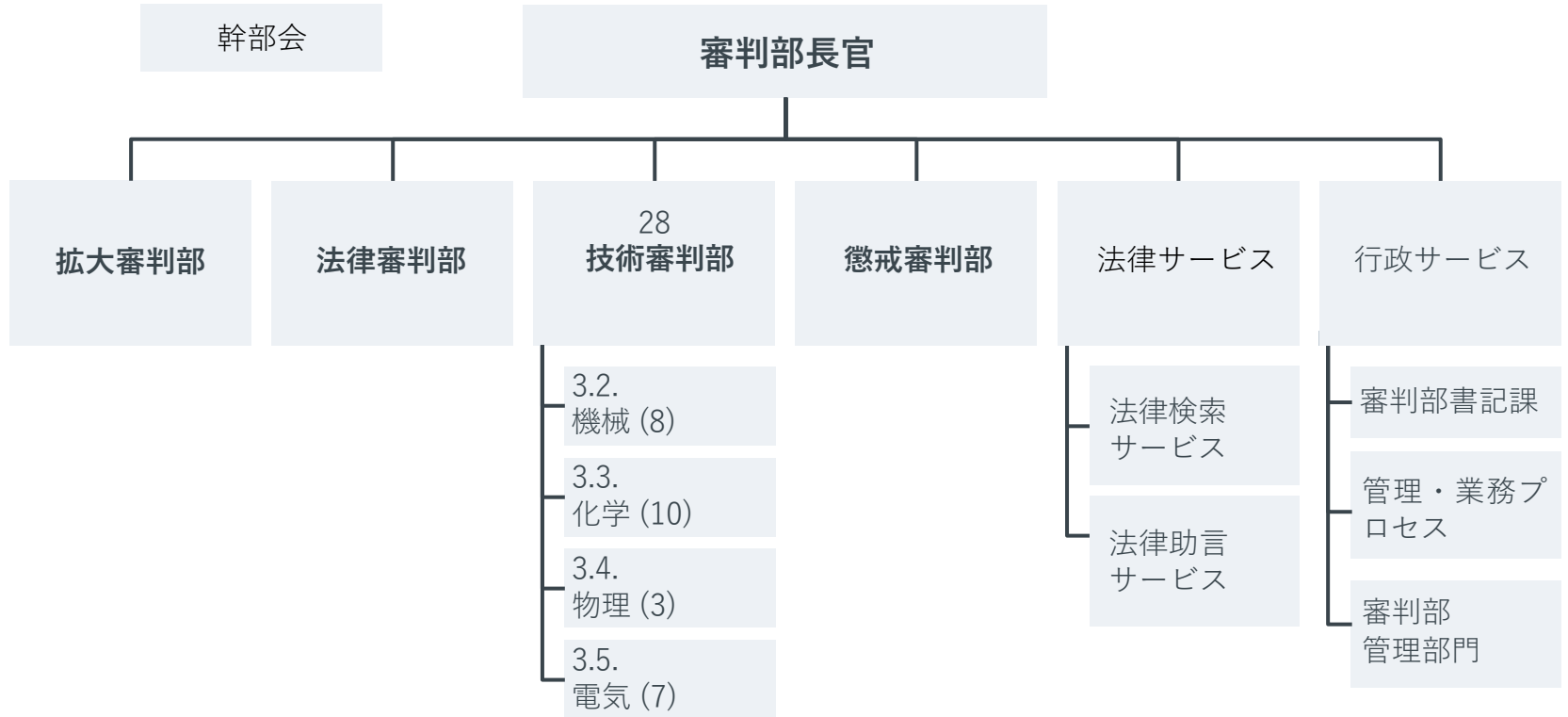
**内部組織、能力・構成**

**EPO拡大審判部への付託**

# 審判組織



# 審判部の内部組織



# 技術審判部 (EPC 第21条(1), (3)(a)(b), (4))

- 審査部及び異議部の決定に対する審判
- 構成：
  - － 技術系審判官2名、法律系審判官1名
  - － 事件によって：技術系審判官3名、法律系審判官2名
- 2021年作業量：
  - － 部門ごと（組織単位）：  
平均 最終処分121件(T../..)
  - － 構造改革以降、52%増



# 法律審判部 (EPC 第21条 審判部(1), (2), (3)(c))

- 次の組織の決定に対する審判：
  - － 受理課
  - － 法律部
  - － 特許付与・出願の拒絶に関与しない審査部
- 構成：
  - － 法律系審判官3名（部門長含む）
- 2021年作業量：
  - － 最終処分11件 (J ../..)





# 懲戒審判部 (EPC 第134条a(1))

- 欧州資格試験(EQE)を含む職業代理人に関する審判
- **構成：**
  - － 懲戒事件：法律系審判官3名、職業代理人2名
  - － 欧州資格試験(EQE)：法律系審判官2名、職業代理人1名
- 拡大審判部へ質問を付託する権限なし ([D 5/82](#))
- **2021年作業量：**
  - － 最終処分6件 (D ../..) – EQEに関する審判

## 拡大審判部 (EPC 第22条)

拡大審判部は、次の事項について責任を有する:

- EPC第112条(1)(a)に基づき審判部から付託された法律上の論点の決定
- EPC第112条(1)(b)に基づきEPO長官から付託された法律上の論点に対する意見陳述
- EPC第112条aに基づき審判部の決定に対する再審理の申請の決定

# 拡大審判部

- 拡大審判部の審決又は意見のための付託 (EPC 第112条)

- 法律の一律適用
- 基本的に重要な法律上の論点

- 手順

- 法律の論点の部門からの付託  
(・ 職権又は当事者の請求に基づく審決のため)
- 欧州特許庁長官からの付託 (・ 意見のため)  
2部門が法律の論点について異なる審決をした場合



2021:

審決 3件 ([G 1/19](#), [G 4/19](#), [G 1/21](#));

係属付託案件 3件(G 2/21, G 1/22 & G 2/22)

# 拡大審判部 – 2021年及び2022年の付託案件

## 2021年審決案件

- [G 1/19](#) 「コンピュータに実装されたシミュレーションの特許性」, 2021年3月10日審決
- [G 4/19](#) 「ダブルパテント」, 2021年6月22日審決
- [G 1/21](#) 「ビデオ会議による口頭審理」, 2021年7月16日審決

## 2022年係属案件

- **G 2/21** 「妥当性」, [T 116/18](#)による付託
- **G 1/22 & G 2/22** 「優先権」, [T 1513/17](#) 及び [T 2719/19](#)による付託（併合審理）

# 拡大審判部 (EPC 第22条)

- 再審理の請求 (EPC 第112a条、規則 第104条～第110条)

部門は、以下の理由に基づいて再審理

- 基本的な手続き上の瑕疵があったこと
- 犯罪行為がその審決に重大な影響を及ぼしている可能性があったこと

- 二段階手続：

- 段階1：明らかに許容できない、または認められないケースをフィルタリング
- 段階2：本案（実体的事項）について決定（拡大審判部）



2021年：処分12件 (R ../..)

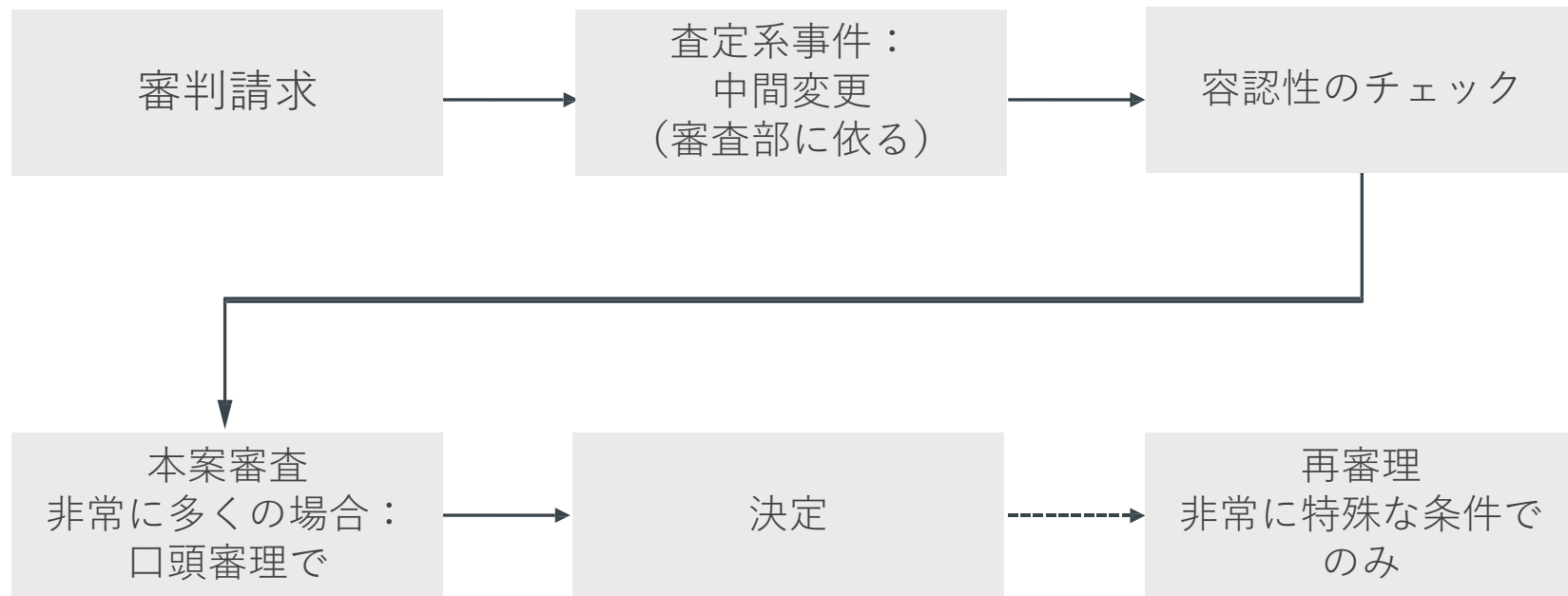
# 審判部 – 統計 2021

- 審判
  - 2,245件 受理
  - 3,395件 処分（すなわち、決定、さもなければ取り下げ）
  - 7,131件 係属（2020年12月31日時点）
  - 90%の事件が59月以内に処分（2020年は60月）
  - 2017年1月1日以降、52%の生産向上
  - 76%の口頭審理をビデオ会議技術を使用して実施
- 2021年12月31日時点の職員数：
  - 部門長28名及び審判官168名からなる28の技術審判部門、法律審判部及び拡大審判部
  - 職員総数 256名

(参照 審判部年次報告書 [Annual report of the Boards of appeal](#))

# 審判手続き及び新しい「審判部手続規則(RPBA)」の側面

# 審判手続きの主な流れ (EPC 第108条～111条)

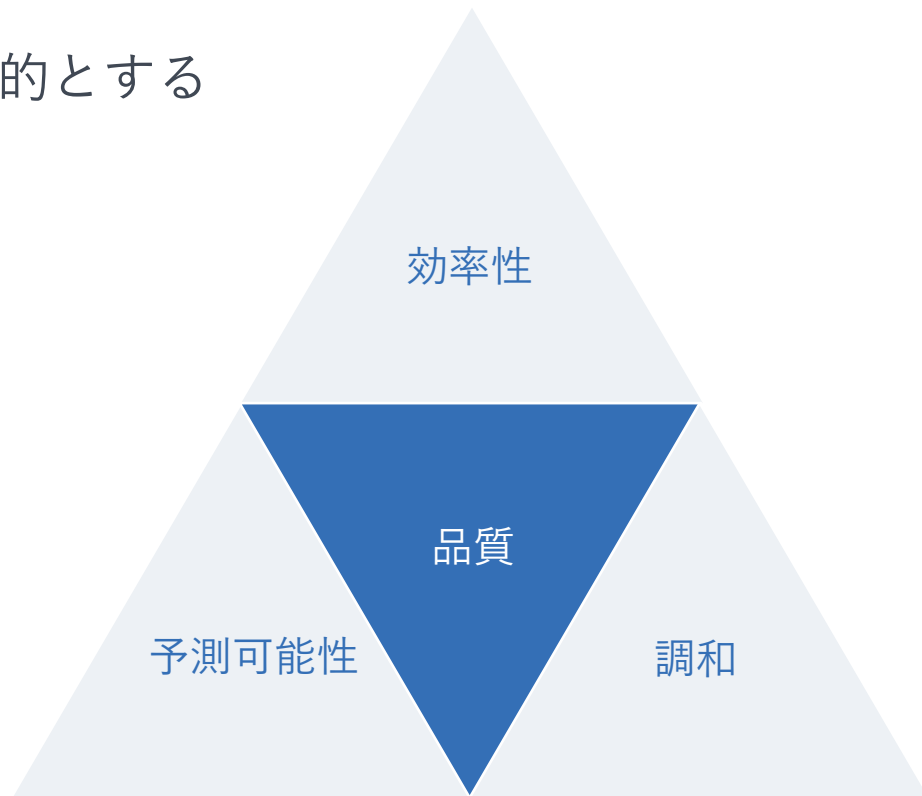




# 審判部手続規則(RPBA)改正の目的

改正は以下の項目の向上を目的とする

- 効率性
- 予測可能性
- 調和



# 手続規則の改正 – RPBA (1/2)

## 目的：

- 審決及びRPBAの**アプローチの調和**
  - 「ベストプラクティス」の成文化・さらなる効率化：
    - ・ より一貫した裁量権の行使
    - ・ 当事者の予見可能性の向上
- 審判手続きの**効率性の向上**
  - 主任審判官及び部門にとって（積極的な事件管理）
  - 手続きの厳格化・裁量権の行使の円滑化：
    - ・ バックログ及び審理期間の着実な削減

# 手続き規則の改正 – RPBA (2/2)

- 当事者に対する手続き上のガイダンスの改善
  - 透明で予測可能な手続き構造による
  - 手続上の無駄を省くことについて当事者の責任向上による
- 同時に
  - 公正な手続への当事者の基本的権利の尊重
  - 審判事件を適時に処理することについての当事者の一般的な利益の認識
  - 部門の審決の質の維持

# 手続規則の改正 – 主要な側面

- 施行期日 2020年1月1日 (RPBA第24条) – 経過措置 (RPBA第25条)
- 翌年度の年間案件リストの公開 (RPBA第1条(2))
- 「[司法的方法](#)」による審決のレビュー (RPBA第12条)
- 「コア」規定 (RPBA 2020第12条,第13条) – [より厳格な集中アプローチ](#)
- 口頭審理前の[通知の義務化](#) (RPBA第15条(1))
- 口頭審理から[3月以内に書面による審決](#) (RPBA第15条(9))
- 手続きの統合・[早期化](#) (RPBA第10条)

参照 補足資料[Supplementary publication 2](#)、欧州特許庁公報2020、[審判部手続規則\(RPBA\) 2020](#) (凡例含む)

こちらも参照 RPBA第15a条、2021年4月1日より施行：欧州特許庁公報2021、A19 「2021年3月23日付管理理事会決定」 "[Decision of the Administrative Council of 23 March 2021](#)"

# 補正

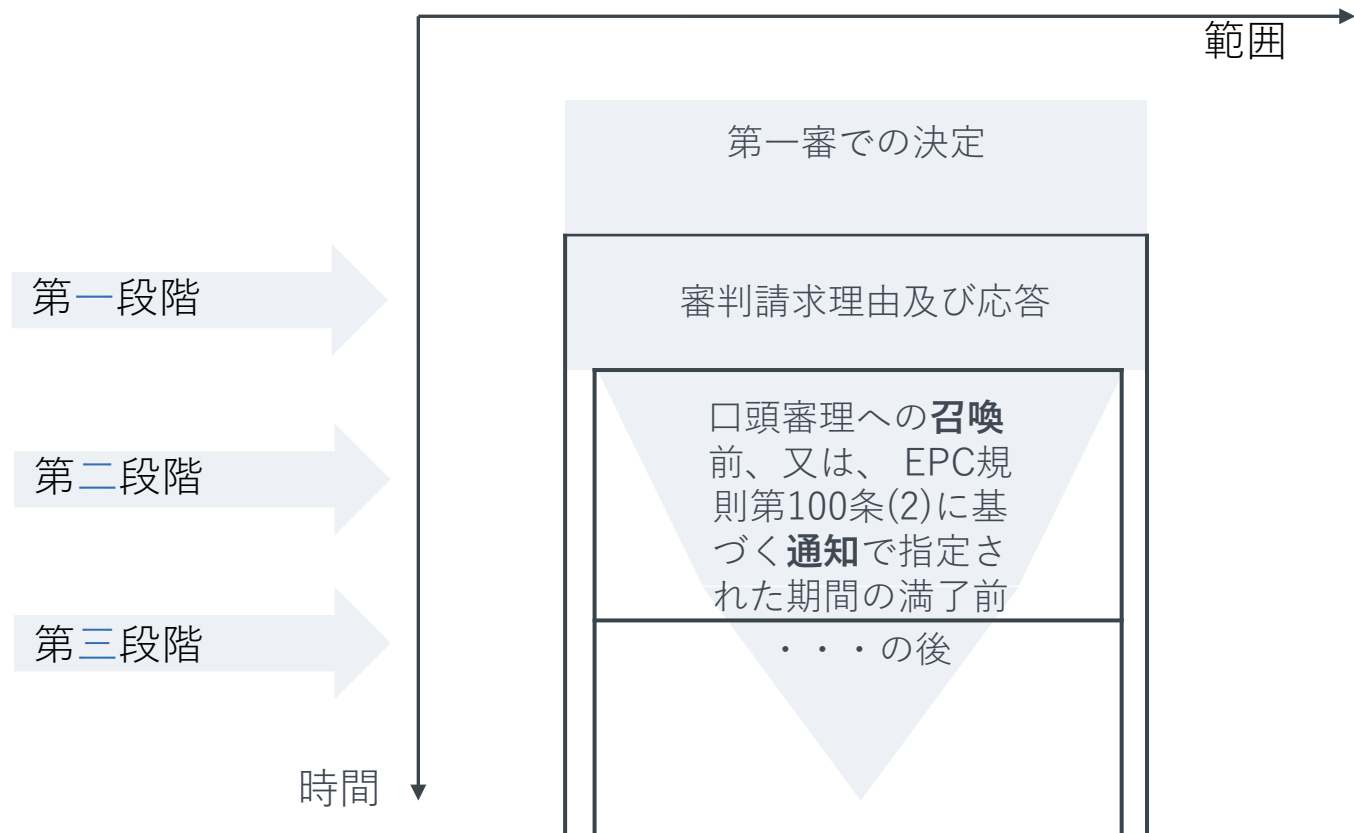
## 「集中アプローチ」

- 補正の正当性を証明する責任は当事者にある
- 補正は審判事件の範囲を減縮することを目的とする
- 補正は部門の裁量で許可できるが、ますます制限される
- 3段階：新設のRPBA 2020第12条(4)、第13条(1)、及び、第13条(2)

## 集中アプローチの3つの段階 (1/2)

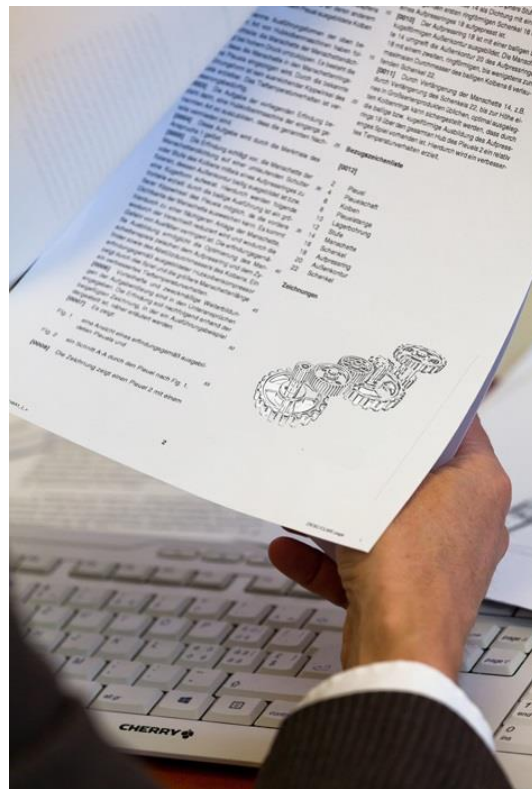
- 第一段階：審判手続きの開始時の段階：審判請求理由書及びそれに対する応答 - 第12条第4項 - 部門の裁量
- 第二段階：審判部からの通知で指定された期間の満了前、又は、口頭審理への召喚の通知前までの段階 - 第13条第1項 - 正当性 + 裁量 + 基準
- 第三段階：EPC規則第100条(2)に基づく審判部からの通知で指定された期間の満了後、又は、口頭審理への召喚の通知後 - 第13条第2項 - 許可せず（例外あり）

# 集中アプローチの3つの段階 (2/2)



# 関連事件 – 審理の統合

- 関連事件を順次審理し、審判手続を統合 – RPBA第10条(2)
- 同じ合議体で関連事件に対応
- 明らかに関連している場合、部門は順次事件を審理





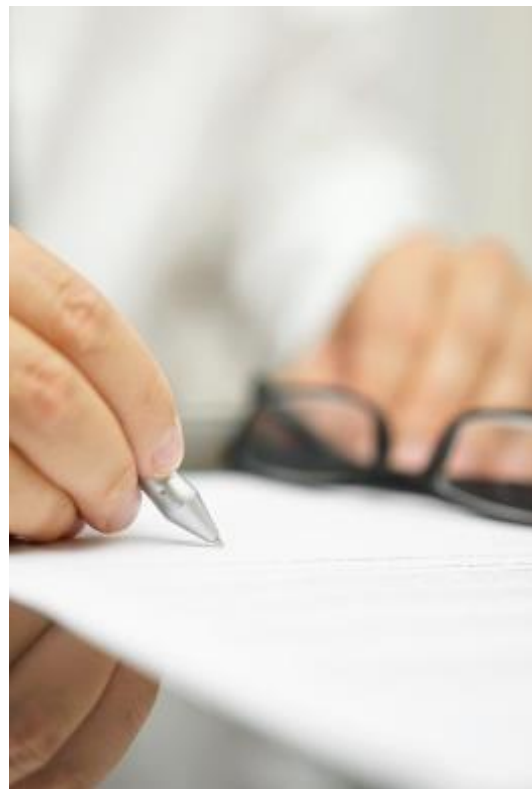
# 早期審理

- 早期審理
  - RPBA第10条(3)～(6)
- 部門は、ある審判請求を他の係属中の審判請求に優先させることが可能
- 当事者及び裁判所は、早期審理を請求することが可能
- 当事者は、早期審理を正当化する正当な理由が必要（例：侵害訴訟が係属中等）
- **目的**：「早期化」を明確な基準で法定化



# 必須通知

- 口頭審理準備のための部門による必須通知 - RPBA第15条(1)
- 通知
  - － 事件の徹底的な分析に基づく
  - － 審決をするのに特に重要な事項に注目
  - － 予備的見解も含まれる場合あり



# 審判請求に対する審決 (EPC第111条、EPC規則第101条～103条、EPC第111条(1)、 RPBA第15条)

- 審決は通常、口頭審理の終了時に口頭で発表される  
(例外的に書面での審理を継続することができる)
- 3月以内に理由を付した審決を文書をもって行う  
(RPBA第15条(9))
- 差し戻された場合、事実関係が同一である限り、第一審は部門の  
審決に拘束される (EPC第111条(2))

## 審決書の簡略化 (RPBA第15条(7)、(8))

- 口頭審理における審決後の審決書の簡略化
- 前提条件：
  - － 当事者の明示的な同意
  - － 特定の事件において「審決を簡略化しない方がよい」という第三者または裁判所が有する正当な利益を示す兆候がないこと
- 簡略化された形での審決の理由は、既に議事録に含まれている場合がある

# 第一審の部課への差戻し

- 第一審の部課への差戻しに関する新規則  
－ 第11条
- 部門は、部門に特別な理由がない限り、  
事件を第一審の部課に差し戻してはならない。
  - － 部門と第一審の部課の間の「キャッチボール現象」の縮小
  - － 時間の短縮




# 各部門の審決に関する情報

# インターネット – 審判部

The screenshot shows the top navigation bar of the EPO website. On the left is the EPO logo with text in German, English, and French. To its right is a search bar and buttons for 'Website' and 'Patents'. Further right are links for 'Media' and 'Contact us', and a language dropdown set to 'English'. Below this is a dark navigation bar with menu items: 'Home', 'Searching for patents', 'Applying for a patent', 'Law & practice', 'News & issues', 'Learning & events', and 'About us'. The main content area features a large banner for 'Contribute to our Strategic Plan 2023' with a 'Have your say' button. A red arrow points from the 'Boards of Appeal' menu item in the left sidebar to the 'Strategic Plan 2023' button in the banner. The sidebar also lists other services like 'European Patent Register', 'Espacenet', and 'Patent Translate'.

# インターネット – 審判部ウェブセクション



Media Contact us

Search Website Patents

English ▾

Home Searching for patents Applying for a patent Law & practice News & issues Learning & events About us

Home > Law & practice > Boards of Appeal

Search decisions

Recent decisions

Enlarged Board of Appeal

Procedure

Annual report

President of the Boards of Appeal



About the Boards of Appeal

Communications

Publications

## Boards of Appeal

Print Share



**Contact**

Boards of Appeal

> Contact us using an online form

Address:  
Richard-Reitzner-Allee 8  
85540 Haar  
Germany

The Boards of Appeal are the first and final judicial instance in the procedures before the European Patent Office (EPO). They have the task of reviewing contested decisions of the Office's departments of first instance within the framework of the European Patent Convention (EPC). They are headed by the **President of the Boards of Appeal**.



# 欧州特許庁審決の動向

- [最近の](#)審決及び[重要](#)審決
- [拡大審判部](#)：係属中及び審決が確定した再審理請求及び付託案件

- 欧州特許庁審決の動向 2022年  
[第10版](#)

- 審決レポート [2021年版](#)

- OJ EPO補足資料

欧州特許庁審判部審決 ([2020年](#) ;  
[2018年](#) ; [2019年](#))



**Thank you very much for your attention!**

**Ingo Beckedorf**

技術審判部 3.2.07 部門長